

◎ 精神障害者の地域移行支援について

地域にコア機関チームを育成し、地域の支援体制整備を図る。

現 状 (H29. 3. 31 現在)

- 平成 27・28 年度に精神障害者の地域移行支援の実績がある市町  
(18/54 市町村)
- (尾張東部圏域) あま市
  - (尾張東部圏域) 瀬戸市、長久手市、東郷町
  - (尾張西部圏域) 一宮市
  - (尾張北部圏域) 犬山市、小牧市
  - (知多半島圏域) 半田市
  - (西三河北部圏域) 豊田市、みよし市
  - (西三河南部東圏域) 岡崎市
  - (西三河南部西圏域) 刈谷市、安城市、西尾市
  - (東三河南部圏域) 豊橋市、蒲郡市、田原市
  - (名古屋圏域) 名古屋市

- 平成 27・28 年度に精神障害者の地域移行支援の取組がある市町  
(38/54 市町村)
- (尾張東部圏域) 愛西市、弥富市、あま市、蟹江町
  - (尾張東部圏域) 瀬戸市、尾張旭市、日進市、長久手市、東郷町
  - (尾張西部圏域) 一宮市、稲沢市
  - (尾張北部圏域) 春日井市、犬山市、江南市、小牧市、岩倉市
  - (知多半島圏域) 半田市、東海市、大府市、知多市、阿久比町
  - (西三河北部圏域) 豊田市、みよし市
  - (西三河南部東圏域) 岡崎市、幸田町
  - (西三河南部西圏域) 碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市
  - (東三河北部圏域) 新城市、東栄町
  - (東三河南部圏域) 豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市
  - (名古屋圏域) 名古屋市

今後の取組等

- 市町村への対応 (平成 28 年度末時点で地域移行支援の実績、取組がない市町村への対応等)
    - ・調査を実施し、引続き市町村の進捗管理を行う。移行実績ない市町村の理由を把握。
    - ・指定一般相談支援事業所がない市町村の相談支援体制の充実を図る。
    - ・行政も参加した顔の見える身近な地域での研修会に、先進地域から講師を派遣し、自発的な地域の取組を促す(専門アドバイザーの活用、PSW 協会に名簿提出を依頼)。
    - ・精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議
  - 住まいの場の確保
    - ・グループホーム一辺倒ではない多様な住まいの場の確保 (居住支援メニューの提示)
    - ・サテライト型ホームの利用促進
  - コア機関チーム活動の推進
    - ・コア機関チームのメンバーは地域によって可変 (福祉相談センターを入れたらという意見)
    - ・市町により温度差。協議の場として精神保健福祉協議会等を活用。
  - 精神科病院等への対応
    - ・病院のガードが固いケース等は、保健所がコーディネートの役割
    - ・本人に意識をもってもらったために、今後はピアサポーターの活動が重要
    - ・地域移行機能強化病棟の活用
- ≪障害者相談支援アドバイザー会議における情報共有事項≫

◎ 地域生活支援拠点等の整備について

先行自治体の取組状況の情報提供など、市町村での取組の促進を図る。

現 状 (H29. 3. 31 現在)

- 地域生活支援拠点等整備にかかる市町村の取組状況
- ・整備予定年度  
28 年度:2、29 年度:23、平成 30 年度以降:12、未定:19
  - ・整備単位  
市町村域:25、障害保健福祉圏域:11、その他:7、未定:11
  - ・整備形態  
面的整備:38、未定:16
- 国は第 5 期基本計画で整備目標年度を延期 (H29 → H32)

今後の取組等

- 市町村に対して地域生活支援拠点の整備について、進捗状況及び検討スケジュールの照会を行い、市町村における計画的な進行管理を促す。
  - 地域生活支援拠点等の客観的な整備指標
    - ・5つの機能 (①相談、②体験の機会・場、③緊急時の受入れ・対応、④専門的人材の確保・養成、⑤地域の体制づくり) を埋めていくことで判断 (県内全ての市町村が面的整備)
- ≪障害者相談支援アドバイザー会議における情報共有事項≫

◎ グループホーム整備促進支援制度について

	6月	10月	1月
28年度	<p><b>【新規開設希望者・既設事業者向け説明会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループホームと整備促進支援制度</li> <li>グループホーム運営の基礎</li> <li>指定申請の基礎的知識</li> </ul> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>6/16 名古屋会場 89名                      6/30 岡崎会場 42名</p>	<p><b>【グループホーム見学会・上映会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見学会 物件選びのコツ、障害特性に合わせた工夫等の説明を交えたグループホーム(居宅)の見学会</li> <li>上映会 DVDを用いたホームでの生活の具体的なイメージ</li> </ul> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>居宅見学 10/7-10/21(12日程) 75名 ビデオ上映 10/24・27 55名</p>	<p><b>【相談会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>開設希望者のより具体的なニーズを把握し、開催</li> </ul> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>1/17 30名(10名×3グループ)</p>
29年度	<p><b>【新規開設希望者・既設事業者向け説明会】</b></p> <p>名古屋会場 (6/30 新規 100名、既設 66名参加) 及び 岡崎会場 (6/28 新規 23名、既設 14名参加) で開催、それぞれそれぞれの会場で2部構成とした。</p> <p>1部 (新規開設希望者向けの内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループホームについて基本的な説明、指定手続</li> </ul> <p>2部 (既設事業者向けの内容)</p> <p>運営ノウハウの提供、入居者確保、人材確保、人材育成、労務管理、サテライト、地域との連携等</p>	<p><b>【グループホーム見学会・上映会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見学会 物件選びのコツ、障害特性に合わせた工夫等の説明を交えたグループホーム(居宅)の見学会</li> <li>上映会 DVDを用いたホームでの生活の具体的なイメージ</li> <li>新規開設希望者のみでなく、開設間もない既存事業者も対象とする。</li> </ul>	<p><b>【相談会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規開設希望者のより具体的なニーズを把握し、開催する。</li> </ul>
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループホーム運営の基礎</li> <li>開設に必要な条件を早期に知ってもらう (サービス管理責任者の資格等)</li> <li>スムーズに指定が受けられるよう、指定手続の知識を身につけてもらう。</li> <li>ホームを一つ開設した後、複数ホームを立ち上げの支援として、既設事業者向けの内容を強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループホームとしての居宅を確保する際の参考とってもらう。</li> <li>開設間もない既設事業者に対して、他施設の取組を紹介し、より質の高い支援に繋げる。</li> </ul>
関連事項	<p><b>【地域アドバイザー会議における情報共有・検討】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループホーム支援コーディネーターが地域アドバイザー会議に参加し、地域アドバイザーと課題等について情報共有、検討を進める。</li> </ul>	<p><b>【地域アドバイザーによる開設間もないホームのモニタリング】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループホーム整備促進支援制度の活用状況</li> <li>開設にあたり近隣住民との関係、苦勞している点など</li> <li>スタッフの人材確保など</li> </ul>	<p><b>【グループホーム支援コーディネーター会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障害福祉課 事業所指定・指導Gが参加し、指定手続にかかる情報共有等を行う。</li> </ul>

○ 地域生活移行推進部会における意見

- グループホームに携わる人材の不足 (開設しても世話人が集まらず毎日開所できない 等)
- 地域アドバイザーが圏域の施設を回る際に配布できるような、運営マニュアル、ガイドラインがあるとよい。現状は県の監査資料を読み込む等している。
- 入所者の声を元に、運営の質を調査する取り組みが必要。

(参考)

・グループホーム住居数の推移(各年度4月1日現在)

	H26	H27	H28	H29
住居数	691	757	835	896
対前年度増減数	-	66	78	61

・グループホーム定員数の推移(各年度4月1日現在)

	H26	H27	H28	H29
定員数	3,511	3,903	4,376	4,733
対前年度増減数	-	392	473	357

## ◎ 入所施設からの地域移行について

地域移行の現状を調査、移行が進まない原因を分析し、必要な対応を検討する。

現 状	今後の取組等
<p>○平成 28 年度は精神障害者の地域移行について進めてきたが、知的・身体障害児・者の地域移行も重要な課題である。</p> <p>○国が定めた第 5 期障害者福祉計画の基本指針で、「施設入所者の地域生活移行者数に関する目標が、第 4 期の 12%から 9%に下げられた。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 入所施設を対象とした調査<ul style="list-style-type: none"><li>・施設ごとの入所者数、地域移行者数の調査（ニーズ調査）のデータを活用し、地域移行が進まない原因を調べる。</li></ul></li><li>○ 事例の調査<ul style="list-style-type: none"><li>・重度・高齢障害者が地域移行した事例を調査・分析する。</li></ul></li><li>○ 地域移行に必要な社会資源の調査<ul style="list-style-type: none"><li>・圏域（市町村）別に、一般相談、短期入所事業所数、重度訪問介護の利用等、必要となる社会資源の状況を調査</li></ul></li><li>○ 対応の検討<ul style="list-style-type: none"><li>・調査結果から課題を抽出し、その解決のために必要となる対応を検討する。</li></ul></li></ul>

## 重度心身障害児者の生活支援について

### 1 愛知県内の重症心身障害児者施設の整備

本県においては重症心身障害児者が利用できる施設は、他の類似府県に比べ少ないため、身近な地域で医療や療育などの支援が受けられる体制づくりのため、重症心身障害児施設の整備を進めてきた。

愛知県内の施設の状況 平成 29 年 7 月 1 日現在

地域	施設名	定員
名古屋市	青い鳥医療療育センター	120 床
名古屋市	国立病院機構東名古屋病院	50 床
名古屋市	ティンクルなごや	90 床
尾張地域（一宮市）	一宮医療療育センター	120 床
尾張地域（春日井市）	こぼと学園	120 床
三河地域（岡崎市）	三河青い鳥医療療育センター	90 床
三河地域（豊橋市）	国立病院機構豊橋医療センター	40 床
三河地域（豊川市）	信愛医療療育センター	64 床

### 2 心身障害者コロニーでの取り組み

既存事業の活用を図りながら、地域で生活する重症心身障害児者を支援していく取り組みを行っている。

#### (1) 重症心身障害児者療育ネットワーク会議の実施

県内の重症心身障害児者の支援を目的に、関係施設等の協力体制を作り、医療療育の充実を図るために、平成 26 年度から実施している。(平成 24 年度・25 年度は検討会議として実施)

構成員は、愛知県医師会、各医療型障害児入所施設、関係医療機関、名古屋大学医学部、行政機関等の代表者から成っている。

#### (2) 重症心身障害児者を支援する人材育成

重症心身障害児者が地域で安心して医療を受けられる体制の構築に向け、医療関係者等の教育研修を行っている。

平成 24 年度から 27 年度においては地域医療再生基金を活用し、28 年度からは地域医療介護総合確保基金を活用して実施している。

平成 29 年度の実施（予定）状況（重症児者関係）

講演会・研修名	対象者	日にち	場所
医療療育推進講演会	重症児者施設職員、相談支援専門員	7 月 8 日	名古屋市内
あいち小児在宅医療研究会	医師、看護師、教員、療育福祉関係者	12 月 10 日	名古屋市内
関係施設職員研修	重症児者施設職員、相談支援専門員、市町村職員等	9 月 19 日 9 月 25 日	三河地区 尾張地区
関係施設等職員実践基礎研究「介護職コース」	重症児者施設介護職員	5 月 27 日 10 月 28 日	コロニー コロニー
関係施設等職員実践基礎研究「看護職コース」	重症児者施設看護職員	7 月 1 日	コロニー
呼吸ケア研修	医師、看護師	11 月 26 日	コロニー
看護研修（特別支援学校向け）	特別支援学校に勤務する看護師	7 月 26 日	名古屋市内
看護研修（訪問看護ステーション向け）	訪問看護ステーションの看護師	8 月 6 日 8 月 28～30 日	名古屋市内 コロニー
あいち小児在宅医療事例検討会	医師、看護師、リハビリ職員、教諭	3 月 4 日	名古屋市内

#### (3) 地域資源に関する情報収集

重症心身障害児者が利用できる事業所情報を一覧表にし、心身障害者コロニーのホームページで公開している。今後も情報を定期的に更新し、調査圏域も拡大していく予定である。

- 重症児者の短期入所を実施している事業所一覧表  
平成 24 年度より毎年更新（県内全域）
- 訪問看護ステーションの一覧  
平成 28 年度調査（県内全域）
- 重症児者対応可能な事業所一覧  
平成 28 年度調査（尾張北部・東部圏域のみ）